

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日: 2022年6月7日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科ビジネスローコース
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: サンフランシスコ州立大学 現地言語: San Francisco State University
留学期間	2021年8月～2022年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年6月16日
明治大学卒業予定年	2024年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期: 8月下旬～12月中旬 2学期: 1月下旬～5月中旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期: 4月上旬～7月下旬, 2学期: 9月中旬～2月上旬)
学生数	1800名
創立年	1899年

留学費用項目	現地通貨 ( )	円	備考
授業料		円	
宿舍費	1300ドル	15万円	朝夜の食事込み(ホームステイ)
食費	1万ドル	120万円	一ヶ月の食費は大体10万円
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	400ドル	5万円	SIMを購入。一ヶ月の料金は約5000円
現地交通費		円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1万ドル	120万円	旅行費等も含む
被服費		円	
医療費		円	
保険費		30万円	形態: 現地校から推奨された保険と明治大学から推奨された保険
渡航旅費		25万円	往復
ビザ申請費		2万円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	2万1700ドル	317万円	

## 渡航関連

## 渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:SFO 経由地:

復路 出発地:SFO 目的地:羽田 経由地:

## 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社:ANA

料金:25万円

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴合計:

## 航空券購入方法

旅行代理店(店名: ) インターネット(サイト名:ANA 公式サイト) その他( )

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: ) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 )

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

アメリカホームステイ専用のサイト

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

学校の寮であると共用部分が多く、ストレスがたまることもある。よって、ホームステイ等も探すと良いと思う。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

なしあり(治療を受けた場所: )

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

なしあり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

ある程度生活していると、近寄ってはいけない地域等の情報がわかる。自身の身は自身で守れる様に、そのような地域には近寄らないようにすることが必要である。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

T-Mobile と呼ばれるアメリカ最大手の携帯会社の SIM を購入した。一ヶ月 40ドルで 10 ギガバイト、電話もかけ放題であるため、不便はなかった。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Chase Bank と呼ばれる大手の銀行で口座を作り、その口座に日本から送金してもらった。パスポートと DS-2019 だけで口座が開設できるため簡単である。さらにクレジットカードも何枚か持つておくとも良いと思う。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

クレジットカード、デビットカード

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか?   ありました	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Living in San Francisco	サンフランシスコでの生活
科目設置学部・研究科	サンフランシスコ州立大学
履修期間	2021 年 9 月～2021 年 12 月
単位数	1
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	フィールドトリップ(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 ヶ月に 1 回
担当教授	Paula Miranda
授業内容	サンフランシスコの歴史や文化をフィールドトリップを通して学ぶ。
試験・課題など	フィールドトリップの感想を毎回授業サイトにポストする。
感想を自由記入	この授業において生活しているサンフランシスコの良さを知ることが出来たので、この授業は良い授業であると思う。友達もこの授業を通して多く作ることが出来た。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Macroeconomic Analysis	マクロ経済分析入門
科目設置学部・研究科	経済学部
履修期間	2021 年 8 月 23 日～2021 年 12 月 20 日
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Anne M. Wenzel
授業内容	授業において経済学の基礎知識を学び、その知識を用いてディスカッションを行う。
試験・課題など	毎週の週末までにクイズ形式の課題を行った。さらに、ディスカッションで自身が取った議事録を毎週提出していた。中間テストは二回、期末テストが一回あった。
感想を自由記入	この授業で多くの経済用語を英語で学ぶ事も出来たし、一年生の授業であるため、比較的簡単な授業であった。さらに、ディスカッションをすることによって会話能力も上がった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Oral Communication Multilingual		英語を第二言語とする生徒のための口頭コミュニケーション額	
科目設置学部・研究科	コミュニケーション学部		
履修期間	2021年8月23日～2021年12月20日		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション、プレゼンテーション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Lyn Motai		
授業内容	特定のお題に関して、グループでディスカッションをしたり、プレゼンテーションを行ったりする。講義においては、Tedトークを分析し、プレゼンする方法等を学んだ。		
試験・課題など	プレゼンテーション、ディスカッション		
感想を自由記入	この授業では、プレゼンテーション技術を上げることが出来たと思っているので、履修して良かったと感じている。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Fundamentals of International Relations Theories, Issues, and Perspectives		国際問題、理論、様々な視点等の国際関係論	
科目設置学部・研究科	International Relation		
履修期間	約4ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン(zoom)(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に105分が2回		
担当教授	Anthony Pahnke		
授業内容	国際政治、経済、文化構造、権威を含む国際関係分野の基礎を学ぶ。この授業においてはディベートが1週間に1回あり、もう一回は教授の講義である。講義を元に、学んだ事を活かしてディスカッションするため、とても役に立つ。		
試験・課題など	オンライン上でのテスト(主に理論に関するの応用問題である)		
感想を自由記入	同じ授業を履修している多くの生徒たちと話さなければならない授業のため、英語力が向上するとともに、国際関係に関する知識が付くのでこの授業はおすすめである。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Management and Organizational Behavior		マネジメントと組織行動の基礎	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	約4ヶ月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン(zoom)(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Robert Bonner		
授業内容	マネジメントの基礎に関する講義を聴き、それに基づき、グループを編成してディスカッションを行う。		
試験・課題など	試験はなく、対面試験の代替としてレポート課題を課される。		
感想を自由記入	この授業では、活発にグループディスカッションを行う。よって、英語を使った英語能力を伸ばすことや友達を作ることも出来るためおすすめである。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
First Semester Chinese		中国語①	
科目設置学部・研究科	Chinese		
履修期間	約 4 ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン(zoom)と対面授業のハイブリッド(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が 4 回		
担当教授	Hsin-Yun, Liu		
授業内容	中国語の基礎をこの授業で学ぶ。授業は、講義だけではなく、プレゼンテーションや会話も行う。中国語を身に付けたい人々にはおすすめです。		
試験・課題など	試験は、2 週間に一回行われる。2 週間に一回のテストは、教科書に 1 ユニットずつを範囲としている。		
感想を自由記入	プレゼンテーションが 2 週間に一回程度行われるため、中国語の発音をその都度修正することが出来る。よってこの授業を私はおすすめです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to the European Union		EU の基礎に関して	
科目設置学部・研究科	International Relation		
履修期間	約 4 ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業(講義、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション)(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 105 分が 2 回		
担当教授	Scott Siegel		
授業内容	EUの基礎に関する講義を聴き、その講義で学んだ内容を元にディスカッションとディベートを 1 週間に一回ずつ行う。さらに、EU の模擬会議を各国の首脳を担当し行う。非常に有意義な授業であったし、知識も付いた。		
試験・課題など	レポート課題		
感想を自由記入	この授業はとてもユニークで教授がとても面白い方だった。おすすめです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Media Politics		国際メディア政治学	
科目設置学部・研究科	International Relation		
履修期間	約 4 ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面授業(講義形式)(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 105 分が 2 回		
担当教授	Juanita Darling		
授業内容	国際メディアの基礎に関して学ぶ。多くの理論を講義で学び、その講義で習った理論を元に、グループを編成し、プロジェクトを行う。そのプロジェクトの内容は、グループでブログを作成し、そのブログの閲覧数を伸ばすというものである。		
試験・課題など	プロジェクト		
感想を自由記入	このプロジェクトでは、SNS を活用し伸ばすことが出来た。とても実践的にメディアに関して学ぶことが出来たため、おすすめです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Law and Courts in Comparative Perspective	アメリカ法
科目設置学部・研究科	Political Science
履修期間	約4ヶ月
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面授業(講義形式とディスカッション)(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に105分が2回
担当教授	Whitney Taylor
授業内容	アメリカの法律を中心として、法律の理論を学んでいく。
試験・課題など	レポート
感想を自由記入	この授業においては、毎回授業の内容に基づいたディスカッションを授業内に行う。とても面白い授業であった。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

ウェブサイトは特になし。私は本を多く読んで進路等を決定した。

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

焦らないで良いと思います。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	勉強
	4月～7月	勉強
	8月～9月	TOEFL
	10月～12月	TOEFL、留学先決定
留学開始年	1月～3月	勉強、留学準備
	4月～7月	勉強、留学準備(ビザ取得)
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	留学先で授業
留学/帰国年	1月～3月	留学先で授業
	4月～7月	留学先で授業、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

### 留学体験記

この留学先を選んだ理由, 留学生活全般について, 留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

サンフランシスコはシリコンバレー近くで、最先端の技術を多く取り扱っている地域です。その地域にあるサンフランシスコ州立大学で学べる事は、とても有意義なものであると考えたことが留学先を選んだ理由です。留学生活では、同学校の生徒だけではなく、他のコミュニティにも参加したりしました。それは課外活動です。そこで出会えた多くの大人の方々にも良くしてもらおうことが出来ました。積極的に多くのコミュニティへの参加をすることが留学成功の近道であると私は考えています。頑張ってください！！